

3

歳出の削減努力で、
収支バランスは10年後に改善。

財政の規模は、現在の38億円から平成27年度には26億円に縮小します。
歳出の削減により、収支のバランスは
10年後に改善するという推計になっています。

焦点

7

地方債の返済が進み、
堅実な財政運営指標が維持可能。

- 財政の健全度を示す様々な財政指標はのほとんどが、これまでに借金の返済を前倒して進めてきたことによって、堅調な推移となっています。

例 → P13

- 経常収支比率 = 平成15年度 **76.3** % (道内市町村中ベスト **8** 位)
- 公債費比率 = 平成15年度 **12.1** % (道内市町村中ベスト **28** 位)
- 公債費負担比率 = 平成15年度 **21.7** % (道内市町村中ベスト **104** 位)
平成15年度に、村債の繰り上げ償還をしたため、この年度だけ上昇。平成14年度はベスト3位。
- 起債制限比率 = 平成15年度 **1.1** % (道内市町村中ベスト **2** 位)

焦点

8

数年間の収支不足は、
基金を一部取り崩して埋め合わせが可能。

- 平成17年度から25年度まで予想される歳入歳出差引の赤字は、基金を取り崩して埋め合わせすることができます。

